

## ジャパンオープン2018競泳競技出場



ジャパンオープン2018競泳競技に出場した  
木村さん(右)

5月24日から東京辰巳国際水泳場(東京都)で行われたジャパンオープン2018に、200メートル自由形と400メートル自由形に出場した木村修梧さん(五一中3年・スポーツアカデミー五所川原所属)が5月21日、市長を表敬訪問しました。

木村さんは平成29年度の全国中学校水泳競技大会で、400メートル自由形のナショナルタイムである4分6秒28を突破したため、当市の水泳選手で初めてジャパンオープンへ出場することができました。

木村さんは「日頃の練習の成果を十分発揮し、ナショナルタイムを突破して、その上を目指して頑張りたいです」と大会への意気込みを話していました。

## 津軽三味線会館入館者数90万人達成セレモニー



90万人目の入館者となった西村さんご夫妻(中央)

津軽三味線会館の入館者数が90万人に達し5月29日、達成セレモニーが同会館で行われました。

90万人目となったのは長野県長野市在住の西村武彦さん、弘子さんご夫妻で、今回、津軽三味線で演奏する民謡が好きな弘子さんの希望で、津軽三味線会館を訪れたとのことでした。

武彦さんは「突然のことでびっくりして、胸がドキドキしている。津軽を訪れるのは今回が初めてで、三味線会館に来たくて旅行に来ました」と話しました。また、弘子さんは「90万人目になれるとは思っていませんでした。三味線の体に響く音が好きです」と話していました。

90万人目の西村さんご夫妻には、記念品と花束が贈呈されました。

## 障害者就労施設が販売しています



市民の土間で商品販売する障害者就労施設の皆さん

6月1日より、市内の障害者就労施設等で作る「五所川原市障害者施設売店運営協議会(大橋一之代表)」が、市役所1階「市民の土間」にて、弁当やパン、手芸品などの販売を行っています。

障がいのある方の働く場所を確保し、社会参加を促すとともに、市役所に来庁する方との交流を通じて、相互理解を深めるため、12時から13時まで開催しています。

大橋代表は「売店実施により、障がいのある方と皆さんとの交流が図られるのはありがたい。この事業により、障がいへの理解も深まり、障がいの有無に関わらず、地域とともに暮らせる共生社会の一因になれば」と話していました。

## 奥津軽虫と火まつり親善大使



親善大使と青年会議所の皆さん

今年で46回目を迎え、6月16日に開催された「奥津軽虫と火まつり(五所川原青年会議所主催:坂本興平理事長)」をPRし、次世代に継承していくことを目的に任命された親善大使の皆さんが6月7日、副市長を訪問しました。

親善大使の活動は2012年から始まり、今年で8回目となります。今年度は親善大使として総勢約90名が、小学校で虫送りの由来を紙芝居で紹介したり、各メディアに出演し、まつりの周知を行うなどして活動しました。

親善大使の石岡みうさん(五所川原商業高等学校)は「活動を通し、地域に貢献できたので、これからも様々な形で地域に役立ちたい」と話していました。